

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

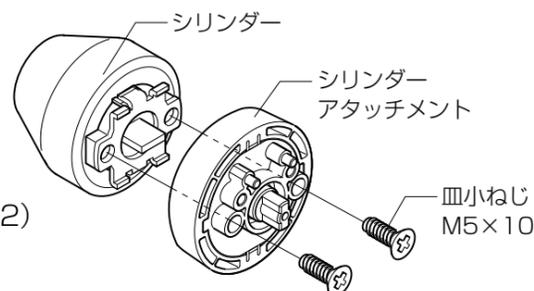
■取付け上のお願い

- 本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やマシン油を注入しないでください。不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤（DASZ020）又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。
- ※本説明書は、ドア本体箱錠のフロント面刻印が『 $\text{G}\text{O}\text{A}\text{L}$ 』であり、ドア本体のシリンダー取付け穴加工が『 $\phi 30$ 』の場合にご使用ください。ドア本体箱錠のフロント面刻印が『 $\text{U}^{\text{SHIN}}\text{SHOWA}$ 』であり、ドア本体のシリンダー取付け穴加工が『 $\phi 36$ 』の場合には、同梱の「把手セット 取付け説明書」を参照し、把手セットを取付けてください。

■取付け順序

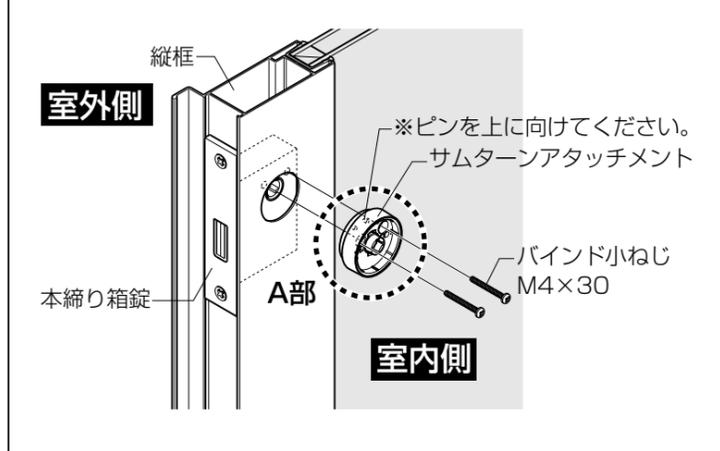
1 シリンダー・サムターンの取付け

- ①シリンダーアタッチメントをシリンダーに皿小ねじM5×10でねじ止めします。（図1）
※シリンダーに上下はありません。
 - ②①のアタッチメント付シリンダーのアタッチメントのピンを上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。（図2）
 - ③サムターンアタッチメントのピンを上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。（図2）
 - ④サムターンアタッチメントをアタッチメント付シリンダーにバインド小ねじM4×35でねじ止めします。（図2）
※テラスドアの場合は、サムターンアタッチメントを箱錠にバインド小ねじM4×30でねじ止めします。
 - ⑤サムターンをサムターンアタッチメントに皿小ねじM4×15でねじ止めします。（図3）
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にしてください。
※サムターンのつまみは縦にしてください。
- ※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
- ※シリンダー・サムターンに上・下用の区別はありません。

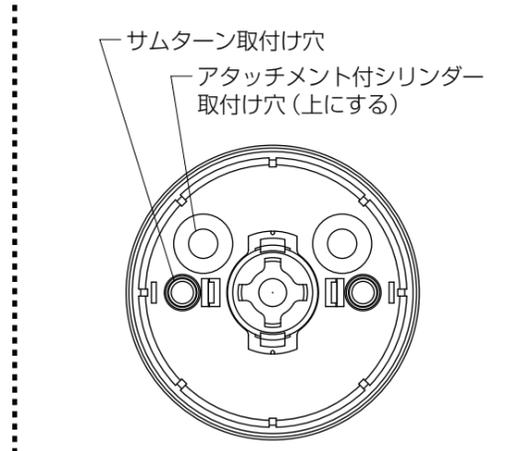


(図1)

■テラスドアの場合



■A部拡大図

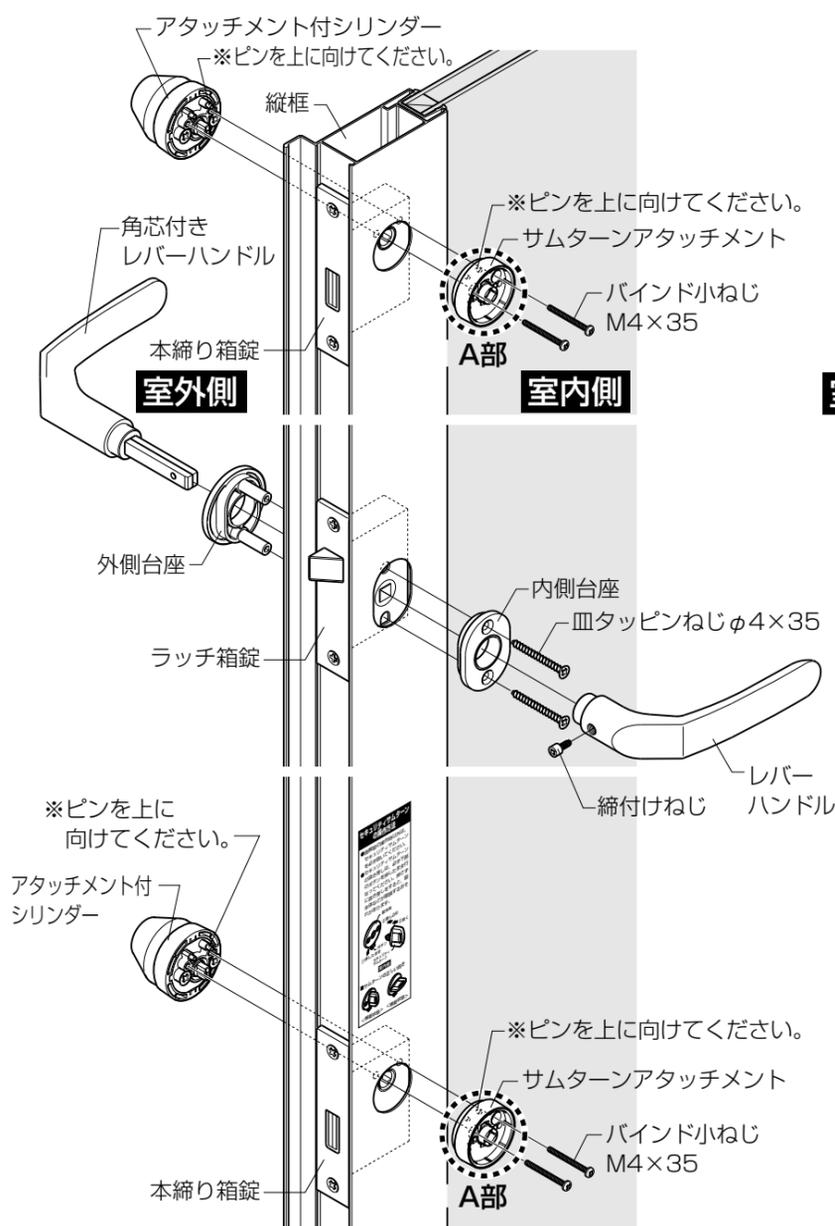


2 レバーハンドルの取付け

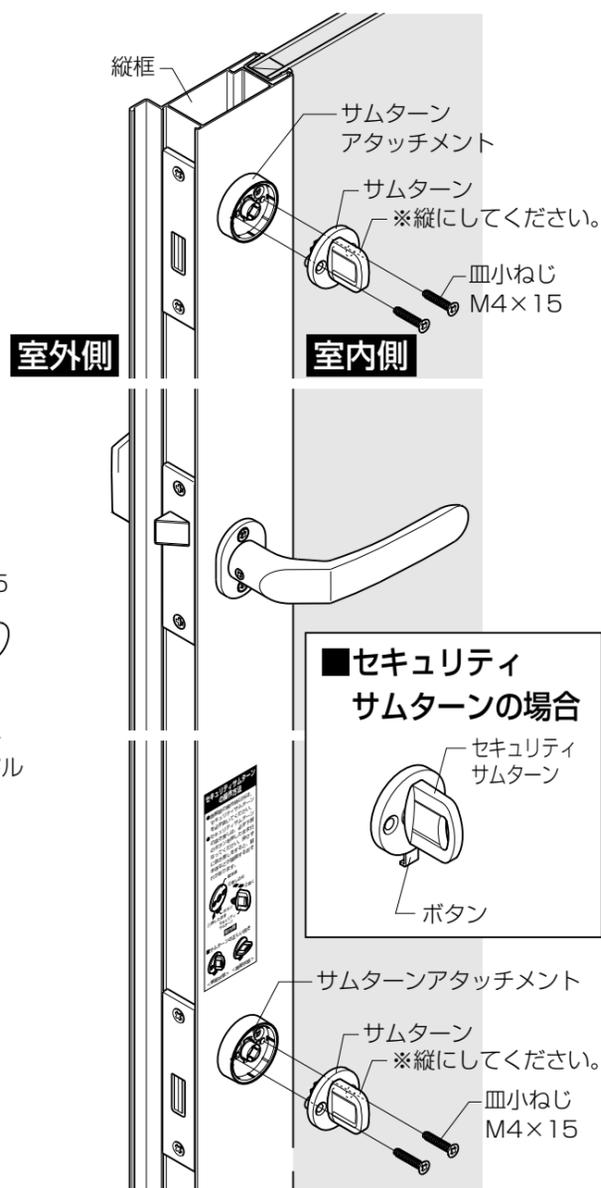
- ①外側台座を室外側から差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

3 コンストラクション装置について (装置付きの場合)

- シリンダー2個のうち、封印シールが張られていないシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。

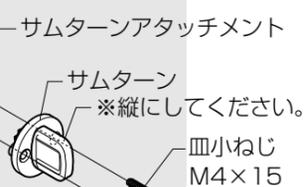
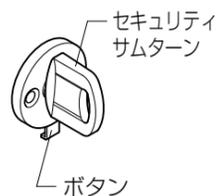


(図2)



(図3)

■セキュリティサムターンの場合



お願い

- ※締付けねじは必ずレバーハンドルの中に沈むまで締付けてください。締付けがあまりいと、開閉に支障が出るおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。